

まえがき 前書き

◇この本の構成

【文字・語彙】

〈漢字読み〉	36問：9問 × 4回
〈表記（漢字）〉	24問：6問 × 4回
〈文脈規定〉	30問：10問 × 3回
〈言い換え類義〉	25問：5問 × 5回
〈用法〉	25問：5問 × 5回

【文法】

〈文の文法1〉	45問：15問 × 3回
〈文の文法2〉	20問：5問 × 4回
〈文章の文法〉	20問：5問 × 4回

【読解】

〈内容理解（短文）〉	8問題（4問題 × 2回）
〈内容理解（中文）〉	3問題（1問題 × 3回）
〈情報検索〉	3問題（1問題 × 3回）

【聴解】

〈課題理解〉	16問（8問 × 2回）
〈ポイント理解〉	14問（7問 × 2回）
〈発話表現〉	10問（5問 × 2回）
〈即時応答〉	16問（8問 × 2回）

正解・解説（別冊）

◇この本の特徴と使い方

① 問題数が多い。

新しい「日本語能力試験」を受けるみなさんがN4の「文字・語彙」「文法」「読解」「聴解」をマスターするための練習問題が数多く入っています。問題は、実際の試験とおなじような、新しい問題形式で作られています。

合格への近道は、問題をたくさんやってみる事です。この本でしっかり勉強して、合格をめざしてください。

② 回ごとに少しずつ進むことができる。

少しずつ勉強を進めることができるように、それぞれの問題を何回かに分けてあります。1回ごとに必ず成績をチェックして、ページの右上の得点欄に点数を書き入れてください。実力がどれだけ伸びたか自分で確認することが大切です。

③ ていねいで、わかりやすい解説がついている。

別冊には、正解と問題の解説（問題文の翻訳、正解語の翻訳、例文、正解でない語の意味や使い方、ヒントや解き方など）があります。勉強する時間があまりない人は、正解をチェックしてから、間違えた問題だけ、その解説を読みましょう。時間がある人は、正解できても答えに自信がなかった問題は、必ず解説の部分をゆっくり、よく読んでください。解説を読むことで、また力をつけることができます。

④ 語句や例文、難しい説明には翻訳がついている。

別冊の解説では、問題文、正解の語、難しい日本語の説明に、英語の翻訳がついています。翻訳を見て解説の内容を確認することができます。

⑤ 正解ではないものについても説明がある。

選択肢の中の、正解ではないものについても説明があります。答えを間違えたときは、参考にしてください。正解ではない語も、知っておかなければならない重要な語ですから、意味をしっかりと確認しましょう。

◇N4「文字・語彙」の勉強のポイント

<漢字読み>

漢字で書かれた言葉の読み方を選びます。ひらがなの表記を選びますから、ひらがなでどのように書くかをきちんと知っていなければなりません。特に、次のような読み方は間違えやすいので、注意しましょう。

1. 長い音：例(お母さん)おかあさん (お姉さん)おねえさん (お父さん)おとうさん (夕方)ゆうがた (高校)こうこう
2. 清音と濁音：例(足)あし／(味)あじ (天気)てんき／(電気)でんき (大切)たいせつ／(大事)だいじ
3. 促音への変化：例(大学)だいがく／(学校)がっこう (特別)とくべつ／(特急)とっきゅう
4. 半濁音への変化：例(発音)はつおん／(出発)しゅっぱつ
5. 読み方がたくさんある漢字：例「日」：日(ひ)、日よう日(にちようび)、二日(ふつか) 「下」：下(した)、地下(ちか)、下りる(おりる)、下がる(さがる)
6. 例外的な読み方：例(切手)きって (上着)うわぎ
7. 拗音(小さい「や」「ゆ」「よ」)：例(急行)きゅうこう (出発)しゅっぱつ (病気)びょうき

<表記(漢字)>

ひらがなで書かれた語を漢字でどのように書くか、正しい漢字を選びます。試験では漢字を選ぶだけですが、漢字の書き方は、いつも紙にペンで書いて覚えるようにしましょう。そうしないと正確に覚えることができません。特に、形が似ている漢字は間違えやすいので、注意しましょう。例「人／入／八」「木／本」「右／左」「小／少」「日／白」「母／毎」「姉／妹」「開／聞／間／問」「新／親」

<文脈規定>

文の意味を推測して、それに合う言葉を選びます。語彙の問題としては標準的な問題です。4つの選択肢には、意味や音や漢字が似ている言葉が並んでいますから、間違えないようによく注意しましょう。

＜言い換え類義＞

文中の下線で示された言葉と同じ意味、近い意味の言葉を選びます。示された言葉と選択肢の言葉と、両方の意味を知っていれば答えることができます。語彙の勉強では、単語カードや単語ノートを作って言葉を覚える人が多いですが、単語の意味を母語に置き換えるだけでなく、別の日本語で置き換えて覚えるのも良い方法です。こうすれば、一度に2つ、3つの単語が覚えられて、語彙を増やすのに効果的です。

＜用法＞

下線のついた言葉が適切に使われている文を選びます。語彙の問題ですから、文法的な適切さではなく、意味的に適切かどうかを判断します。この問題は単語の意味を知っているだけではなく、その言葉が文の中でどのように使われるかを知らないと答えられません。ですから、単語の意味を暗記するだけではだめで、文で覚えるのが良い勉強法です。覚えやすい例文を選んで、その文全体を覚えましょう。例えば「試験」なら、「大学の試験を受ける」という文を覚えます。カタカナの言葉も出題されますが、外来語でも日本語としての使い方を知っておかなければなりません。

◇N4「文法」の勉強のポイント

＜文の文法1＞

空白の中に適当な言葉を選択肢から選んで入れます。空白に入る言葉は、N4レベルの日本語学習者に欠かせない表現文型が中心になりますが、どれも日常よく使われる重要な表現ばかりですから、「文法」の分野だけでなく「読解」「聴解」の実力をつけるためにも、しっかりと勉強してください。

＜文の文法2＞

文を正しく組み立てる形式の問題です。この問題でも、問われるポイントは、やはり表現文型が中心となります。しかし、表現の意味や使い方の知識だけでこの問題に正しく答えることはできません。今まで勉強した文法の規則の全部をカギにして文を組み立てる練習が必要です。慣れないと少し難しいように感じるかもしれませんが、パズルを解くようなおもしろさもあります。練習問題をたくさん解いているうちにきっとこの問題が好きになるでしょう。

＜文章の文法＞

まとまった文章の中に空白があります。文章の流れを理解したうえで、意味的に合い、しかも文法的に適切な言葉を選ぶ問題です。空白部に入るのは、助詞、接続詞、機能語類、文末表現などの文法的なもののほかに、意味から考えて文脈に合うような語句や文もあります。

この問題を解くときは、まず、文章全体の意味を考えて、文章の流れや進み方をつかみます。次に、細かい部分に注目して、文と文の関係を考えながら、空白に入る言葉を選択肢から選びます。これだけのことを短い時間で行うのは簡単ではありませんから、練習問題で十分なトレーニングをすることが必要です。これは、読解の練習もかねる大変良い勉強になります。

◇ N4 「読解」の勉強のポイント

＜内容理解（短文）＞

短い文章を読みます。手紙、Eメール、お知らせなどの実用的な文章も出題されるかもしれません。速く読んで、すぐに要点をつかむ練習をしましょう。

＜内容理解（中文）＞

450字ほどの文章を読みます。評論、解説文、エッセイなどの文章が中心になります。内容の事実関係をとらえる練習、さらに因果関係や筆者の考えなどを読み取る練習もしなければなりません。

＜情報検索＞

お知らせや案内などの実用文を読んで、必要な情報を見つけてみます。漢字、語彙の知識が足りないと、なかなか答えられません。自分が今実際にその情報を探しているつもりになって集中して読むと、答えが見つけやすくなるでしょう。

◇ N4 「聴解」の勉強のポイント

<課題理解>

毎日の生活の中で、私たちはラジオやテレビや人からさまざまな情報を聞いて、それをもとに行動しています。このような情報のポイント(何、いつ、どこなど)を聞き取る、現実的で実際的な聞き方を練習します。試験ではポイントをメモすることも大切です。練習のときから、メモを取りながら聞くようにしましょう。メモの書き方も、練習するにしたがって上手になるでしょう。

<ポイント理解>

はじめに質問を聞きます。次に問題用紙の選択肢を読んでおきます。はっきり言わないあいまいな会話もあるので、推測をしながら、話している人の気持ちや起こったことの原因などをつかむ練習をしましょう。

<発話表現>

場面を表すイラストを見ながら、状況の説明を聞きます。ほかの問題とちがって、この問題では話し手の発話を選びます。話し手の発話が場面や状況に合っているかどうかを判断します。実際のコミュニケーションで場面や状況に合う発話ができる力をつけておきましょう。

<即時応答>

短い話を聞いて、その返事を3つの中から選びます。新しい形式の問題ですから、形式に慣れて、短い時間ですぐに答えが選べるようにトレーニングをしてください。練習をすればするだけ、慣れて、楽に正解が見つかるようになります。16の問題が終わったら、また最初から聞いて、繰り返し練習すると効果的です。

Preface

◇ The makeup of this book

【Vocabulary】

< Kanji reading >	36 questions (9 questions × 4)
< Orthography >	24 questions (6 questions × 4)
< Contextually-defined expressions >	30 questions (10 questions × 3)
< Paraphrases >	25 questions (5 questions × 5)
< Usage >	25 questions (5 questions × 5)

【Grammar】

< Sentential grammar 1 (Selecting grammar form) >	45 questions (15 questions × 3)
< Sentential grammar 2 (Sentence composition) >	20 questions (5 questions × 4)
< Text grammar >	20 questions (5 questions × 4)

【Reading】

< Comprehension (Short passages) >	8 questions (4 questions × 2)
< Comprehension (Mid-size passages) >	3 questions (1 question × 3)
< Information retrieval >	4 questions (1 question × 3)

【Listening】

< Task-based comprehension >	16 questions (8 questions × 2)
< Comprehension of key points >	14 questions (7 questions × 2)
< Verbal expressions >	10 questions (5 questions × 2)
< Quick response >	16 questions (8 questions × 2)

Answers/Explanations (separate book)

◇ Features of and how to use this book

(1) A large number of questions are provided.

This book contains a large number of practice tests in the area of “Vocabulary,” “Grammar,” “Reading,” and “Listening” for those who are going to take the new “Japanese-Language Proficiency Test” Level N4. All the questions in this book are made in the new format as in the actual test.

A shortcut for you to pass the test would be to try as many practice questions as possible. We hope you will prepare with this book and succeed in the upcoming test.

(2) You can proceed gradually by taking one test at a time.

Each test is split into several portions so you can proceed your study little by little. Make sure you fill in your score each time in the score space at the top of the page because it is important to check your current level.

(3) Helpful explanations are provided.

You will find the correct answers and explanations (translations of questions and answers, example sentences, meaning of and usages of incorrect answers, tips and answering techniques, etc.) in the separate booklet. If you don't have much time to study, you can just check the right answers and read the explanations for the ones you were wrong with. If you do have time, make sure you read the explanations carefully even if you gave the correct answers but were not confident. You can further improve your skills by reading them.

(4) Phrases, examples, difficult explanations are followed by translations.

In the separate book, the questions, answers, and difficult explanations are translated into English. You can make sure you understand the explanations by reading the translations.

(5) Non-correct alternatives also come with explanations.

Among the choices, the non-correct alternatives also come with explanations which will be helpful when you chose a wrong answer. You also need to know the meanings of non-correct alternatives which are also important.

◇ How to prepare for N4 “Characters and Vocabulary”

< Kanji reading >

You are asked to choose the right readings of words written in kanji. You need to choose the right readings written in hiragana, so you must know exactly how to rewrite kanji characters using hiragana. Below are some examples of kanji readings you need to pay special attention to:

1. Long sounds: **Examples** (お母さん) おかあさん (お姉さん) おねえさん (お父さん) おとうさん (夕方) ゆうがた (高校) こうこう
2. Voiceless and voiced sounds: **Examples** (足) あし / (味) あじ (天気) てんき / (電気) でんき (大切) たいせつ / (大事) だいじ
3. Shift to double consonants: **Examples** (大学) だいがく / (学校) がっこう (特別) とくべつ / (特急) とっきゅう
4. Shift to semi-voiced sounds: **Examples** (発音) はつおん / (出発) しゅっぱつ
5. Kanji with multiple readings: **Examples** 「日」: 日 (ひ)、日よう日 (にちようび)、二日 (ふつか) 「下」: 下 (した)、地下 (ちか)、下りる (おりる)、下がる (さがる)
6. Exceptional reading: **Examples** (切手) きって (上着) うわぎ
7. Contracted sound (small letter 「ゃ-yo」 「ゅ-yu」 「ょ-yo」) **Examples** (急行) きゅうこう (出発) しゅっぱつ (病気) びょうき

< Orthography >

You are asked to choose the right kanji which should represent proper meanings written in hiragana. You are only asked to choose the right kanji among the four choices in the test, but we advise you to actually practice writing kanji with a pen on a piece of paper. Otherwise, you won't be able to learn them properly. Below are some examples which look alike and so you need to pay special attention to. Kanjis which look alike: **Examples** 「人 / 入 / 八」 「木 / 本」 「右 / 左」 「小 / 少」 「日 / 白」 「母 / 毎」 「姉 / 妹」 「開 / 聞 / 間 / 問」 「新 / 親」

< Contextually-defined expressions >

You are asked to guess the meaning of a sentence and to choose the proper word which matches the sentence. This is a standard type of vocabulary questions. You need to be very careful in choosing the right one because the four choices given are very much alike in meaning, sound, or kanji.

< Paraphrases >

You are asked to choose the word which has (about) the same meaning as of the underlined word in a sentence. You can pick the right word if you know the meaning of both the underlined word and of the choices. A lot of people use cards or a notebook for learning vocabulary, but you could also practice rephrasing words using different Japanese words when learning vocabulary rather than simply translating them into your native language. It will be effective in enhancing your vocabulary if you do this, because you can learn two or three words at the same time.

< Usage >

You are asked to choose the right sentence which has the proper usage of the underlined word in the sentence. Because this is a vocabulary question, you need to judge if a word is being properly used in a sentence rather than judging the grammatical accuracy. You cannot pick the right sentence unless you know how a word is used in a sentence besides the original meaning of it. Therefore, it will be no good to just memorize vocabulary mechanically. You need to learn how they are used in sentences. Pick example sentences that are easy to remember, and memorize the whole sentences. For example, when you want to learn the word 試験 (examination), you memorize the sentence 大学の試験を受ける (I take a college examination). Katakana words are also asked, and although they are foreign words, you need to know the right usage as used in Japanese.

◇ How to prepare for N4 “Grammar”

< Sentential grammar 1 (Selecting grammar form) >

In this section, you are to choose the appropriate words to fill in the blanks with. Most of the alternatives are functional words (structural expressions) that must be mastered by N4 students, and are very important because all of them are commonly-used in daily life. They are also helpful for the Reading and Listening sections, so study them hard.

< Sentential grammar 2 (Sentence composition) >

This section is made up of a type of questions in which you are asked to rearrange the words and compose sentences correctly. Again, the major points here are structural expressions. However, only the knowledge of the meanings and usages of those expressions will not enable you to answer the questions here correctly. It is necessary for you to practice building up sentences using all the grammar rules that you have learned so far. You may feel it is a little difficult before you get used to this type of questions, but you may later find it thrilling just like when you are trying to figure out a puzzle. You will certainly come to like this type of questions after working on a number of practice questions.

< Text grammar >

There are some blanks in a passage on a certain topic. You need to pick the right words that are appropriate not only in meaning but also in grammar. Choices given for filling in the blank are the grammatical elements such as particles, conjunctions, functional words, words for ending sentences and etc., along with phrases or sentences that are contextually appropriate in meaning. When answering these questions, you need to try to grasp the overall meaning of the passage, how it is constructed and developed. Next, you pay attention to more detailed parts, understand the co-relations of each sentence, and then pick the most suitable words from the choices. It is not easy to do all of these in a short time, so it is necessary that you train yourself hard through the practice questions in this book. This will also help you improve your reading comprehension.

◇ Study points for N4 “Reading”

< Comprehension (Short passages) >

You read a short passage, sometimes daily-life messages such as a letter, Email, notice, etc. You need to practice fast reading and getting the essential points.

< Comprehension (Mid-size passages) >

You read an about 450-character-long passage, mostly a comment, report, or an essay. You need to practice telling if some incidents are true or false, and also need to practice understanding cause-and-effect relations or author’s ideas.

< Information retrieval >

You read notices or announcements and then search for necessary information. It is pretty difficult to answer these questions if you do not have enough knowledge of kanji and vocabulary. It is advisable for you to read the sentences and phrases thinking that you actually are trying to find certain information, and you would be able to better concentrate yourself and find the answers more easily.

◇ Study points for N4 “Listening”

< Task-based comprehension >

We hear all kinds of information in our daily life through radio, TV or people, based on which we take actions. In this section you practice catching the necessary information (real-life information such as what, when, where etc.). It is also important to take notes during the test, so practice listening while taking notes. You can also improve note-taking techniques in a while.

< Comprehension of key points >

First you listen to some questions. Next you read the choices on the test paper. There are some conversations that are rather vague and indirect, so you need to practice guessing and catching the speaker's feelings or reasons for some incidents.

< Verbal expressions >

You listen to an explanation of a situation while you look at an illustration that describes the scene. Unlike other questions, you choose the speaker’s utterance in this question. You judge if the speaker’s utterance is suited to the scene or situation. You need to strengthen your skill to be able to say what is suited to particular scenes and situations in actual communications. Make sure you carry it out for practice.

< Quick response >

You listen to a short story, and need to pick the right response out of three choices. Because this is a new type of questions, try to get used to this style and train yourself to be able to pick the right answers in a short time. The more practice you make, the more you will get used to it and be able to get the correct answers easily. It will be effective, when you are finished with all the 16 questions, to go back to the first one and listen again.